

水草の観察

水草の水槽（ネジレモ・オオカナダモ・ヨシ）や寄港地で採取した水草の観察を行う



準備物（実験室から）

バット×2 水草の水槽×1 ピンセット×2
ルーペ×2 机×1 雑巾×1
タブレットPC（デジタル図鑑用）×1
デジタル水質測定器

- 問題** 琵琶湖にはどんな水草があるのだろうか。また、水草にはどのような働きがあるのだろうか。
- 予想** もともと琵琶湖にいた水草と外国からきた水草がある。水草は水をきれいにする。
- 観察** デジタル図鑑や資料を使って、水草の名前や種類を調べる。デジタル水質測定器を使って水草のある水槽の酸素の量を調べる。
- 結果** 固有種2種類（サンネンモ・ネジレモ）
外来種（オオバナミズキンバイ・オオカナダモ）などがある。水草のある水槽は酸素の量が水草がない水槽に比べて多い。
- 考察** 水草は魚類や水生昆虫などの産卵や生活の場となって生物多様性を支えている。酸素を供給したり、水質を浄化する働きもある。
- まとめ** 琵琶湖にもともといた在来種が少なくなり、外国から来た外来種が増えた。